

第1回大和郡山市子ども・子育て会議
議事録

日時：令和元年6月13日（木）14：00～

場所：大和郡山市中央公民館 3階 音楽室

1. 開 会

2. 議 題

- ①大和郡山市子ども・子育て支援事業計画の概要について
- ②大和郡山市子ども・子育て支援事業計画策定のスケジュールについて
- ③大和郡山市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査票について
- ④その他

3. 閉 会

1. 開会

事務局

定刻となりましたので、ただ今より令和元年度第1回大和郡山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

本日はご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。私はこども福祉課の北浦です。よろしくお願いいたします。

本日の資料のご確認をさせていただきます。

- ・ニーズ調査票（就学前児童保護者用）
- ・ニーズ調査票（小学生保護者用）
- ・事業計画の概要
- ・スケジュール表
- ・座席表
- ・大和郡山市子ども・子育て会議の傍聴に関する基準

こちらの資料をお配りしております。過不足なく皆さまお持ちでいらっしゃいますでしょうか。

本日は11名の皆さまの参加となりまして、過半数の方にご出席をいただいておりますので、大和郡山市子ども・子育て会議条例第7条第2項にもとづきまして、会議が成立する旨をご報告させていただきます。

また、昨年度でそれまで3年間の任期を終えられたのちも、皆さまには引き続き委員として「子ども・子育て会議」にご参画をいただけることをご承諾いただいておりますので、その委嘱状をお配りしております。また、PTA 聯合協議会からは藤田委員の退任によりまして、新たに勝川委員に子ども・子育て会議の委員をおつとめいただくことになりました。また、大和郡山市公私立保育園園長会、公立からは堤委員の退任により森川委員におつとめいただくことになりました。そして、大和郡山市校園長会からは吉田委員の退任により向井委員におつとめいただくことになりました。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。なお、本日、内藤委員はご欠席ということでご連絡いただいております。

本日ご出席いただいております委員の皆さま、そして事務局につきましては、お手元の座席表にてご確認をお願いいたします。また、今回次期計画の策定業務を委託いたします株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所内藤も同席し、ご説明いたします。

また、会議は公開で開催をさせていただきます。傍聴希望の申し出がございましたら、会長より皆さまにお諮りし、ご承認をいただければ傍聴人の入場後、議事を進めて

いただく予定であります。開会にあたりまして、会長からご挨拶をいただきたいと思いません。

これからの議事につきましては、大和郡山市子ども・子育て会議条例第7条第1項にもとづき会長の元で進めさせていただきたいと思えます。生田会長、よろしくお願ひいたします。

生田会長

皆さま、こんにちは。本日もお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は三の丸会館の音楽室での開催ということで、音楽室があったことを初めて知りました。前は議会の第2委員会室で普段入ったことがないようなところで開催させていただきました。庁舎も建て変わるといふことで色んな違ふところで開催させていただけて、普段の雰囲気も変わって良いことだと思えます。

早いもので、平成26年度に策定させていただきました大和郡山市子ども・子育て支援事業計画も5年が経ち、第2期の計画を策定する時期となっております。5年経ちましたが、その頃からの委員の方々もいらっしやいます。策定に関しては、新しい方々のご意見も聞きながら、相談しながら作って行きたいと思っております。

最初は慣れないといふか、どういったものを作って行けば良いかは私たちがなかなか分からないところだす。新たに入った委員の方々も、これから進める中でどういったものを作らなければいけないか、疑問に思われているところもあるかと思えます。こちらの計画につきましては、アンケートを元にしまして、教育・保育の量の見込みや、地域子ども・子育て支援事業の利用見込み、そして確保の内容の中、実施時期等を相談しながら策定させていただくことになっております。これから皆さんにご審議いただくニーズ調査の内容といふのはそれを設定する大切なものになっておりますので、アンケートの内容が調査内容に沿っているかもしっかりとご確認いただけて、ご意見いただきたいと思っております。

最近ニュースでは、日本の少子化や人口減少が話題となっております。自然に1年で44万人の人口が日本から減っていることを考えると、ぞつとするような怖さを感じます。なかなか一朝一夕で歯止めがかかるものではないと思えますが、計画をしっかりと策定し、それに沿って事業を進めていく中で、少しでも大和郡山市が子育てのしやすい町となり、人口の定着に繋がるものになれば、ここで会議をすることも今後生きていくのではないかと思えます。

皆さまからの忌憚のないご意見をいただきたいと思えますので、最後までよろしくお願

いたします。

1つ私より報告をさせていただきます。大和郡山市では福祉ゾーン整備審議会というものが設置されます。どういうものかと言いますと、奈良県の旧郡山保健所の跡地の用地取得を行い、その周辺には社会福祉会館や老人センターあるいは郡山西保育園、ライフイン郡山など福祉関連施設を福祉ゾーンとして設定し、機能強化して整備を進めていきます。その中で、子ども・子育て会議より委員を推薦していただきたいということでした。会長として誰かを推薦して下さいということで、委員の中の方々に関わらず推薦しても良いということでした。福祉ゾーンにあります郡山西保育園の廣田園長先生を推薦させていただきました。この場においてご報告させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

先ほど事務局より傍聴の方がいらっしゃるとご報告を受けました。この会議は原則公開となっておりますので、傍聴者が1名おられますので傍聴に関する基準第2条に従いまして、皆さんの異議がなければ承認したいと思っております。いかがでしょうか。

<異議なし>

ご異議がなかったので、傍聴者の傍聴を認めます。

2. 議題

①大和郡山市子ども・子育て支援事業計画の概要について

生田会長

それでは、これからは次第に従って進めてまいります。
まず、議題①について事務局より説明をお願いします。

事務局

(大和郡山市子ども・子育て支援事業計画(第二期)策定概要にもとづき説明)

生田会長

ありがとうございます。今説明いただきました事業計画の内容について、ご質問がございましたらよろしくをお願いします。

森田委員

2 ページの放課後児童クラブですが、放課後子供教室というのはこちらには書いてあり内容は分かったのですが、児童クラブの内容を知りたいので教えていただけますか。放課後子供教室と児童クラブの違いを知りたいです。

事務局

放課後児童クラブにつきましては、保護者の方が働かれている等の理由で保育を必要とするお子さんが行かれるクラブになります。放課後子供教室は保育の必要の有無とは別に、全てのお子さんに行くことが出来る放課後を過ごす場所となっております。

森田委員

学童とはまた違うのですか。

事務局

学童のことです。呼び方が大和郡山市では学童となっています。

生田会長

放課後児童クラブは学童保育所と同じだということですね。

森田委員

アンケートには、学童保育所と記載されていますね。それはこちらでいう放課後児童クラブということですか。

事務局

そうです。

生田会長

他にございませんか。

次の議題②について、事務局より説明をお願いします。

② 大和郡山市子ども・子育て支援事業計画策定のスケジュールについて

事務局

(大和郡山市子ども・子育て支援事業計画(第二期)策定スケジュールにもとづき説明)

生田会長

ありがとうございます。策定スケジュールにつきまして、ご質問ございましたらよろしくお願いします。

<なし>

続きまして、次の議題に進みたいと思います。議題③について説明をお願いします。

③ 大和郡山市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査票について

事務局

(ニーズ調査票(就学前児童保護者用)、ニーズ調査票(小学生保護者用)にもとづき説明)

ジャパン総研

小学生の調査票ですが、修正が1点ございます。

初めの説明文が書いてあるところの4段落目「また、本調査は、就学前のお子さんのいるご家庭から…」とありますが、「小学生のお子さんのいるご家庭から…」の誤りです。申し訳ございませんでした。修正させていただきます。

生田会長

今説明していただきましたアンケート調査について、ご意見・ご質問をよろしく願いいたします。

ジャパン総研

就学前児童・小学生共通になりますが、1ページの基本的な情報の問2・問3でお子さんの生年月をご記入くださいとあり、元号は平成だけ記載しています。令和に生まれたお子さんもいらっしゃると思いますので、こちらは平成・令和というように併記をさせていただきます。

生田会長

10月から始まる予定の教育・保育の無償化ですが、無償化が始まる前と後では、施設を利用する・利用しないは大きく違ってくるような感じがします。調査票はどちらを想定して、質問されていますか。

ジャパン総研

国では10月から開始されるということなので、無償化を前提にさせていただきたいと考えています。

生田会長

問14などは、無償化というところもふまえて質問した方が良いのではないのでしょうか。

ジャパン総研

問14に「10月から無償化が予定されております」ということと、また「どのようなお子さんが無償化になるのか」ということについての説明を追加させていただきます。

森田委員

3ページの就労状況についてですが、フルタイム・パートタイムという分け方が、基本となる勤務時間は1日8時間だと思いますが、色々な働き方が多くなってきており、アンケートを答える側からしてみると回答しづらく感じます。契約的にはフルタイム(正社員)ではないけれども、労働時間は8時間位になっている等といったマイノリティが出ないのかと思います。

ジャパン総研

国のニーズ量を算出するための手引きには、フルタイムは1日8時間で週5日働いている方という定義がされており、パートタイムの方の定義はありません。フルタイムの方とは、こういう方を対象としているという注釈を付けた方がお答えいただけやすいでしょうか。

森田委員

そうではないかと私は思います。

ジャパン総研

注釈を付けさせていただくということによろしいでしょうか。

委員一同

(賛同)

ジャパン総研

ありがとうございます。

生田会長

他にいかがでしょうか。

高田委員

小学生児童の5ページにある学童保育の利用希望の時間帯ですが、平日の利用希望の時間帯も聞いてほしいです。今現在の学校の保育が17時までということも書いてあり、女性進出されて正社員の方等は18～19時位に迎えに行きたいという方も居られると思います。私自身も将来そういった働き方となれば18時まで学童保育を利用したいという意向もあり、そういったニーズもあるのかと思います。出来るのであれば項目を増やしていただきたいという希望があります。

ジャパン総研

平日の放課後の学童保育所の利用希望の時間ですが、4ページの間12が「放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方」ということで、5番の学童保育所を利用した方には下校時から何時までと記入する欄があり、こちらで利用の希望を伺いたいと思います。

高田委員

「どのような場所で過ごしていますか」なので、過ごしている時間帯を書く欄になりますね。希望を書くスペースがないように感じます。

ジャパン総研

ありがとうございます。追加については検討させていただきます。

生田会長

就学前児童の問 20-2 の病児・病後児保育施設等の利用についてですが、「利用したいと思わない」と答えた方の理由を聞ければ、参考になるかと思います。

往西委員

就学前児童の問 4 で「この調査票にご回答いただく方」ということで、母親・父親・その他となっています。問 5 では「ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)」とあります。問 4 でその他を選択した方の配偶関係は必要なのでしょうか。友人や祖父母が回答している場合、必要なか疑問に思いました。

ジャパン総研

問 4 ・問 5 は国の調査票からこうなっています。ただメインとしては、母親・父親と答えられた方がひとり親なのかどうかを伺う部分となります。

ニーズ量の算出上問題が無いようであれば、その他と回答いただいた方は、問 5 を飛ばして問 6 へ案内するような方法も考えられます。まず、国の算出方法について、確認をさせていただきたいと思います。

往西委員

ボリュームが多いので、文字の数はあまり増やさない方がいいのかと思います。また、回答欄が必要なところ、もし欲しいと思わない仕様なら、それは無くてもいいのかと思います。

乾副会長

前回の回収率が 50%弱でしたが、なぜ 70~80%戻ってこないかという問題点があります。前回は返答されたかどうかという設問を付け加えても良いのではないのでしょうか。

必ずしも同じ人のところに調査票が行くとは限らないので、来ていればという前提はありますが、返却率の低さに対して何か項目があれば良いのではと思います。載せて良いものかどうかという話もありますが、半分の返却率から策定した計画と 70~80%の返却率からのものは、違うのではないかと思います。

ジャパン総研

まず、前回調査の返却をされなかった方の理由の追加についてです。前回は無作為抽出

でしたので、今回お送りする方ももしかすると居られるかもしれませんが、お子さまの年代によって全く同じ方には行かず、難しいところかと考えます。

生田会長

最後の自由記入欄で、「教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して」の後に、「や、当アンケートの実施方法について」を入れて、「ご意見がございましたら…」としてはいかがでしょうか。

ジャパン総研

いただいたご意見につきましては、小学生・就学前児童とも一番最後のご意見を聞かせていただいているところに子育て支援や環境だけではなくて、アンケートの不都合についてもご意見いただけるように追加させていただくということで良いでしょうか。

往西委員

小学生と就学前児童のアンケートで、「大和郡山市の子育てや子育て支援サービスについてうかがいます」と書いてありますが、小学生の分でも「幼稚園での保育サービスを充実する」等を聞くのはどういう意図があるのでしょうか。

ジャパン総研

就学前の調査で言えば13ページの間29、小学生では間16についてですね。

こちらについては、就学前の方に関しては今のご状況の中で充実を図ってほしいものをお伺いさせていただきたいのですが、小学生の保護者様に関しても、これまで育てられた経験の中で、昔を振り返っていただいて強化してほしかった部分についてもご意見をいただきたいため、同じ選択肢とさせていただきます。

勝川委員

就学前の間31、小学生の間18ですが、「将来、お子さんにどのような人に育ててほしいと思いますか」とありますが、これは国からの指標ですか。

ジャパン総研

これは、第1期計画から入っている大和郡山市の設問です。

5年前の調査段階では子ども・子育て支援事業計画を策定するという目的でされている

のですが、それよりも前に次世代育成支援行動計画に関するアンケート調査を实际やってきており、そこから入って来ている設問となります。

勝川委員

育ってほしいと言いますが、育てるのは親や祖父母です。親の責任・義務、自分は育てず、こういう人に育ってほしいというような感じに受け取れてしまいます。

ジャパン総研

育ってほしいという言い方が悪いのか、他人任せのような聞き方になっているということでしょうか。

勝川委員

そうです。全部当てはまるし、こういう風に育ってほしいなというのは分かりますが、何か他人事のようにです。

ジャパン総研

見方を変えるとすれば、「どのようにお子さんを育てたいと思いますか」という聞き方でしょうか。

勝川委員

まだそちらの方が良いです。保護者の立場として、育てたいじゃないですか。過保護に育ててしまう傾向が非常に強いので、過保護に育ててはならないというのも分かるのですが、行政側としては育ってほしいなのではないかと思いました。

ジャパン総研

ご意見ありがとうございます。選択肢としては、1番から6番まではほぼ当てはまるという方が多いのではないかと思います。その中でやはり優先順位を付けるために○を3つまでというようにさせていただいております。

また「育ってほしい」という文言に関しましては、「育てたい」と思いますかという聞き方にさせていただくというのは委員の皆さまいかがでしょうか。

委員一同

(賛同)

ジャパン総研

どのような人に育てたいと思いますかという聞き方で修正をさせていただきます。

上田委員

就学前のその下の問 32 の「これからもお子さんに大和郡山市で育ててほしいと思いますか」という文言もあわせて検討いただけますか。

勝川委員

私はあわせて良いと思います。基本事業計画としても、大和郡山市内でも子ども・子育て支援があり、大和郡山市に移り住んでいただければこんなに良い町だと助長する意味でも、ゴロ合わせでも、あわせて良いかと思います。

生田会長

他にいかがでしょうか。

往西委員

細かいことばかりで申し訳ありませんが、先ほどの問 29「大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて」の項目についてです。10 番の「幼稚園での保育サービスを充実する」ですが、郡山市も段々と認定こども園が増えていきます。そうなれば、幼稚園だけの保育サービスの向上を願うのではなく、認定こども園や保育園なども入ってくると思います。子育てや子育て支援サービスについて言えば、保育園だと施設開放などがあるでしょうが、これから段々と保育内容も認定こども園と一緒に流れてくる流れとなっています。

幼稚園だけのサービスの充実を書かれているのはどういう意図なのでしょう。

生田会長

幼稚園・保育園・こども園にしても、教育・保育というのは行っていますが、あえて保育サービスと書かれているので、0・1・2歳の預かりなのか、もう少し保育園のような時間帯のサービスなのか、どちらかなのかと思います。

ジャパン総研

預かり保育等の保育を充実するという選択肢になっていると考えています。

往西委員

意図されるところを、もう少し具体的に書いていただければ分かりやすいと感じました。

ジャパン総研

検討して、修正させていただきたいと思います。

④ その他

生田会長

いかがでしょうか。よろしいですか。

また、会議終了後に気付かれた点等ございましたら、事務局までお知らせいただきたいと思ひます。

アンケートの調査項目ですが、皆さまからいただいたご意見を元に修正をさせていただきます。7月中旬位に発送したいと思ひます。今たくさんご意見いただきましたので、修正させていただいた内容は後日皆さまに見ていただき、ご確認いただきたいと思ひます。

今日は以上で議題を全て終わらせていただきます。次回の子ども・子育て会議の日程につきましては、日程が決まりましたら、皆さまにお知らせさせていただきます。

では、全ての報告が終了しましたので、司会を私から事務局にお返しさせていただきます。事務局からよろしくお願ひします。

3. 閉会

事務局

皆さま、どうもありがとうございました。

皆さまのお立場での貴重なご意見をいただけたと思ひています。ありがとうございました。

なお、本日の内容につきましては、後日、大和郡山市公式ホームページに掲載をさせていただきます。次回は9月頃の予定になりますが、日程が決まりましたら今回同様皆さまにお知らせいたしますので、その際はご出席・ご意見をよろしくお願ひいたします。

本日は、ご出席いただきまして、どうもありがとうございました。

※